



令和4年9月1日現在	
世帯数	: 846世帯
人口	: 1522人
男	: 726人
女	: 796人

秋のアイコン "キノコ" が つなぐ和

海に囲まれ、温暖で雨量も多いわが国は、国土の大半を山林で占められた緑ゆたかな国です。南北を問わず多種にわたる樹木を有する日本。森林と共に生きるキノコの種類は多岐にわたり、世界的に見てもキノコ大国なのです。

コロナ禍でアウトドアを楽しむ方が増加する昨今。全国的に「キノコブーム」が巻き起こっているのをご存じですか？山岳民である私たち長野県民にとって、キノコは身近な存在です。持ち山に入り、食用に向くキノコを採る方、登山中に出会ったキノコをお土産にする方、有名なキノコ生産販売企業の商品には、記憶力に効能のある健康食品な

歩いていくものまで登場。キノコといえば長野県というイメージは増々強くなっていきます。

しかし、近頃の「キノコブーム」は、かなり個性的な進化を遂げているのです。

密を避け、山林を目指した人。自宅周辺のウォーキングを楽しむ人。そんな方々が今まで目にした事のないキノコ達と出会い、名称や生態に興味を持ち始めた結果、SNSなどではキノコの観察や撮影を目的としたグループが多数生まれました。もちろん、以前からこうした趣のグループは幾つか存在してはいました。けれども、ここ数年の盛り上がり方は目覚ましく、全国のみならず世界中のキノコファンが地元や旅先での成果を投稿するようになりました。また、「菌活」なる新語も定着。その楽しみ方は、見るだけ・写真の撮影・採取・食用・キノコを使った染色・胞子紋・キノコアートなど……。今では、キノコを通じて更に一

歩踏み込んだ趣味を、ネット環境を利用して実現する方が続出しているのです。

秋のイメージが強いキノコ。実は、春先から冬の雪上に生えるものまで多様で、国内だけでも3千〜4千種は存在しているとのこと。そのうち食用とされるものはわずか100にも満たず、生態に関してもまだまだ謎だらけの分野です。

山でキノコを採取する際には、肌の露出を防ぐ服装や、野生動物と遭遇する危険もあるので、持ち物などの備えは十分に整える必要があります。また、自然環境への配慮や登山客同士のマナーなど必ず守った上で楽しむのがルールです。



山林にひっそり生えるキノコ (ウラベニイロガワリの仲間)

食用も、確かな知識が生死を分けるので、安易に口にすることは控え、分かるものだけ、美味しくいただきたいですね。

Presented by 視聴覚委員会

まちかどフォト / 夏の風物詩



OMF歓迎吹奏楽パレード



第48回 松本ぼんぼん

松本の夏が戻ってきた

「恋も二度目なら 少しは器用に…」と昭和の流行歌にありましたが、新型コロナウイルス感染症の流行下での3回目の夏を迎え、病気との付き合い方にも少しずつですが慣れはじめ、コロナ禍で中止を余儀なくされていた恒例行事も次々と復活し、いつも通りの夏が戻ってきました。



見物客でにぎわう中央2丁目交差点

松本の夏といえば、まずは「松本ほんぼん」。第48回となった今年は、踊りのコースも時間も短縮し、十分な感染対策を講じた中で8月6日に開催されました。踊りの参加者は43連の約2150人とピーク時の1割ほどでしたが、久しぶりに街なかに響いた軽快なサンバ調の曲にあわせて、小学校から企業・社会人の各グループが無言のまま躍動しました。傍から見れば、真夏にマスクをして踊るのは何かの罰ゲームのようでもありましたが、参加者にとっては楽しく充実したひと時となりました。

8月10日からは花時計公園で、食とビールの祭典「松本サマーフェスト2022」が12日間の日程で開催されました。ドイツや国内のビール、ワインやカクテルなどのドリUNKと地元の食材をふんだんに使ったお酒が進む各種の料理が提供され、換気の心配のない屋外の会場は人気を集めました。

8月13日から9月9日の日程で、30周年の節目となる国際音楽祭「セイジ・オザワ松本フェスティバル(OMF)」も開催されました。8月21日には恒例となる歓迎吹奏楽パレードがMウイング前を出発し、伊勢町・本町・大名町を経て松本城での合同演奏会へと続きました。地元の小中学生を中心に大学生や社会人による36団体1500人の参加があり、沿道からは保護者を中心に多くの市民の応援の拍手も響き渡りました。26日夜

に松本駅お城口広場他市内外の各所で行われたオーケストラのスクリーンコンサートには、熱心な愛好家から帰宅途中の会社員まで多くの観客が詰めかけ、カーテンコールでの小澤征爾総監督の突然の登場には、割れんばかりの拍手で盛り上がりを見せました。さらに今回は30周年記念



迫力ある演奏と凛々しい行進

念出前コンサート企画もあり、8月31日の夜には松本城月見櫓からサイトウ・キネン・オーケストラ・アンサンブルによる記念ファンファールの世界初演が、9月1日には信毎メディアガーデンで音楽塾オーケストラによる公演が行われ、両日とも多くの市民でにぎわいました。結果的には過去最多となる死者・感染者となった第7波の夏でしたが、感染拡大を防ぐための行動制限を国や自治体が見送ったおかげでお盆休みの人出は回復し、街なかも観光地も、神社の例大祭や花火大会にもにぎわいが戻ってきました。開催にこぎつけた

主催者の努力や周りの関係者の協力に感謝するとともに、第8波の山が低くなり、懐かしい日常が続くことを祈念いたします。

安倍晋三元首相が7月8日参院選の街頭演説中に41歳の男に銃撃され、亡くなりました。母親がかつて韓国発祥の「世界平和統一家庭連合(旧統一教会)」に多額の献金を行い家庭崩壊となり、それに安倍元首相が関わっていたとの思いでの犯行でした。

旧統一教会は1980年代に先祖供養などを名目に壺や絵画・印鑑などを売りつける「霊感商法」で社会問題化した教団です。若手人気歌手や新体操日本チャンピオン、タレントなどの有名人も信者になり、当時話題になりました。信者の高額献金などを巡るトラブルが絶えず、反社会的な教団と指摘されています。

最近では、侵略戦争のことやコロナ・特殊詐欺などについて報道されることが多かったので、安倍元首相の暗殺を機に、旧統一教会の件が話題になっています。それに大勢の政治家が関わっていたようで、この際、旧統一教会とはきっぱり関係を断っていただきたい。大勢の信者が様々な被害に遭っています。旧統一教会・コロナ・特殊詐欺には、お互い用心です。

電車通り